

研修カリキュラム表（介護職員初任者研修課程）通信（スクーリング13日間用）

事業者名： メイクカンパニー合同会社  
2014.6より変更

※実施内容については、要綱別紙2「介護職員初任者研修における目標、評価の指針」を網羅すること。

研修カリキュラム（要綱別紙1）			
講義・演習（実習）	合計		
1 職務の理解	6時間		
(1) 多様なサービスの理解			
(2) 介護職の仕事内容や働く現場の理解			
2 介護における尊厳の保持・自立支援	9時間		
(1) 人権と尊厳を支える介護			
(2) 自立に向けた介護			
3 介護の基本	6時間		
(1) 介護職の役割、専門性と多職種との連携			
(2) 介護職の職業倫理			
(3) 介護における安全の確保とリスクマネジメント			
(4) 介護職の安全			
4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携	9時間		
(1) 介護保険制度			
(2) 障害者総合支援制度及びその他の制度			
(3) 医療との連携とリハビリテーション			

実施計画					
カリキュラム名・時間数					実施内容
1 職務の理解	6時間	時間数	うち通学	うち通信	1 職務の理解
(1) 多様なサービスの理解		3	3	/	(1) 介護福祉士・社会福祉士・看護師・基礎研・実務
(2) 介護職の仕事内容や働く現場の理解		3	3	/	(2) 介護福祉士・社会福祉士・看護師・基礎研・実務
2 介護における尊厳の保持・自立支援	9時間	時間数	うち通学	うち通信	2 介護における尊厳の保持・自立支援
(1) 人権と尊厳を支える介護		5	1.5	3.5	(1) 介護福祉士・社会福祉士・看護師・基礎研・実務
(2) 自立に向けた介護		4	0	4	(2) 介護福祉士・社会福祉士・看護師・基礎研・実務
3 介護の基本	6時間	時間数	うち通学	うち通信	3 介護の基本
(1) 介護職の役割、専門性と多職種との連携		2	1	1	(1) 介護福祉士・看護師・基礎研・実務
(2) 介護職の職業倫理		1	0	1	(2) 介護福祉士・看護師・基礎研・実務
(3) 介護における安全の確保とリスクマネジメント		2	2	0	(3) 介護福祉士・看護師・基礎研・実務
(4) 介護職の安全		1	0	1	(4) 介護福祉士・看護師・基礎研・実務
4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携	9時間	時間数	うち通学	うち通信	4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携
(1) 介護保険制度		4	1	3	(1) 社会福祉士・ケアマネ
(2) 障害者総合支援制度及びその他の制度		2	0	2	(2) 社会福祉士・ケアマネ
(3) 医療との連携とリハビリテーション		3	0.5	2.5	(3) 看護師

第1-2号様式

5 介護におけるコミュニケーション技術	6時間		
(1) 介護におけるコミュニケーション			
(2) 介護におけるチームのコミュニケーション			
6 老化の理解	6時間		
(1) 老化に伴うところとからだの変化と日常			
(2) 高齢者と健康			
7 認知症の理解	6時間		
(1) 認知症を取り巻く状況			
(2) 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理			
(3) 認知症に伴うところとからだの変化と日常生活			
(4) 家族への支援			
8 障がいの理解	3時間		
(1) 障害の基礎的理解			
(2) 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、 かかわり支援等の基礎的知識			
(3) 家族の心理、かかわり支援の理解			

5 介護におけるコミュニケーション技術	6時間	時間数	うち通 学	うち通 信	5 介護におけるコミュニケーション技術
(1) 介護におけるコミュニケーション		3	1.5	1.5	(1) 介護福祉士・社会福祉士・看護師・基礎研・実務
(2) 介護におけるチームのコミュニケーション		3	1.5	1.5	(2) 介護福祉士・社会福祉士・看護師・基礎研・実務
6 老化の理解	6時間	時間数	うち通 学	うち通 信	6 老化の理解
(1) 老化に伴うところとからだの変化と日常		3	2	1	(1) 介護福祉士・看護師・基礎研・実務
(2) 高齢者と健康		3	1	2	(2) 看護師
7 認知症の理解	6時間	時間数	うち通 学	うち通 信	7 認知症の理解
(1) 認知症を取り巻く状況		0.5	0	0.5	(1) 介護福祉士・看護師・基礎研・実務
(2) 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理		2.5	2	0.5	(2) 看護師
(3) 認知症に伴うところとからだの変化と日常生活		2.5	2	0.5	(3) 介護福祉士・看護師・基礎研・実務
(4) 家族への支援		0.5	0	0.5	(4) 介護福祉士・看護師・基礎研・実務
8 障がいの理解	3時間	時間数	うち通 学	うち通 信	8 障害の理解
(1) 障害の基礎的理解		0.5	0	0.5	(1) 介護福祉士・看護師
(2) 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、 かかわり支援等の基礎的知識		2	1.5	0.5	(2) 看護師
(3) 家族の心理、かかわり支援の理解		0.5	0	0.5	(3) 介護福祉士・社会福祉士・看護師・基礎研・実務

9 ころとからだのしくみと生活支援技術		75時間	
ア 基本知識の学習		10~13時間	
(1) 介護の基本的な考え方			
(2) 介護に関するころのしくみの基礎的理解			
(3) 介護に関するからだのしくみの基礎的理解			
イ 生活支援技術の講義・演習		50~55時間	
(4) 生活と家事			
(5) 快適な居住環境整備と介護			
(6) 整容に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護			
(7) 移動・移乗に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護			
(8) 食事に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護			
(9) 入浴、生活保持に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護			
(10) 排泄に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護			
(11) 睡眠に関したころとからだのしくみと自立に向けた介護			
(12) 死にゆく人に関したころとからだのしくみと終末期介護			
ウ 生活支援技術演習		10~12時間	
(13) 介護過程の基礎的理解			
(14) 総合生活支援技術演習			

9 ころとからだのしくみと生活支援技術		75時間			
ア 基本知識の学習		11時間	時間数	うち通学	うち通信
(1) 介護の基本的な考え方			3	3	0
(2) 介護に関するころのしくみの基礎的理解			4	2	2
(3) 介護に関するからだのしくみの基礎的理解			4	2	2
イ 生活支援技術の講義・演習		54時間	時間数	うち通学	うち通信
(4) 生活と家事			2.5	0	2.5
(5) 快適な居住環境整備と介護			2	0	2
(6) 整容に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護			8	7.5	0.5
(7) 移動・移乗に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護			8	7.5	0.5
(8) 食事に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護			8	7.5	0.5
(9) 入浴、生活保持に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護			8	7.5	0.5
(10) 排泄に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護			8	7.5	0.5
(11) 睡眠に関したころとからだのしくみと自立に向けた介護			5.5	5	0.5
(12) 死にゆく人に関したころとからだのしくみと終末期介護			4	3.5	0.5
ウ 生活支援技術演習		10時間	時間数	うち通学	うち通信
(13) 介護過程の基礎的理解			2.5	2.5	0
(14) 総合生活支援技術演習			7.5	7.5	0

9 ころとからだのしくみと生活支援技術	
ア 基本知識の学習	
(1) 介護福祉士・看護師・基礎研・実務	
(2) 介護福祉士・看護師・基礎研・実務	
(3) 介護福祉士・看護師・基礎研・実務	
イ 生活支援技術の講義・演習	
(4) 介護福祉士・看護師・基礎研・実務	
(5) 介護福祉士・看護師・基礎研・実務	
(6) 介護福祉士・看護師・基礎研・実務(20名以上 補助者)	
(7) 介護福祉士・看護師・基礎研・実務(20名以上 補助者)	
(8) 介護福祉士・看護師・基礎研・実務(20名以上 補助者)	
(9) 介護福祉士・看護師・基礎研・実務(20名以上 補助者)	
(10) 介護福祉士・看護師・基礎研・実務(20名以上 補助者)	
(11) 介護福祉士・看護師・基礎研・実務(20名以上 補助者)	
(12) 介護福祉士・看護師・基礎研・実務	
ウ 生活支援技術演習	
(13) 介護福祉士・看護師・基礎研・実務(20名以上 補助者)	
(14) 介護福祉士・看護師・基礎研・実務(20名以上 補助者)	

第1-2号様式

10 振り返り		4時間				10 振り返り
		時間数	うち通学	うち通信		
(1) 振り返り		2	2	/		(1) 介護福祉士・看護師・基礎研・実務
(2) 就業への備えと研修修了後における継続的な研修		2	2	/		(2) 介護福祉士・看護師・基礎研・実務
追加カリキュラム						
計 (130時間)		130	90.5	39.5		

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実施内容には、講義内容、演習の実施方法、通信学習課題の概要等を記載すること。（別紙でも可）
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。